

左近山中だより

平成 30 年 10 月 22 日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 6

防災を考える

副校長 内山 裕二



日に日に秋が深まり、気温も下がってまいりました。今年の夏を思い出すと猛暑の日が多く、熱中症を防ぐ呼びかけや対策があちらこちらで行われていたことを思い出します。その中で西日本地域では集中豪雨による大きな被害があり、9月6日には、北海道の胆振地方を中心とする震度7の大きな地震がありました。その後も余震が続いており、10月中旬で震度3以上の揺れが45回観測されているそうです。集中豪雨や地震の被害にあわれた方々が一刻も早く日常生活を取り戻せます様お祈り申し上げます。

さらに、今年も日本各地で大きな地震が起こっています。4月9日1時32分に島根県西部を震源とする最大震度5強の地震があり、5月25日には、21時13分に長野県北部を震源とする震度5強の地震が起こり、6月18日7時58分に起こった大阪北部を震源とする震度6弱の地震では、高槻市の女子児童がブロック塀の崩落に巻き込まれて亡くなるという痛ましい事故が起こったことでも記憶に残る地震になりました。加えて西日本は、7月に1府10県に大雨の特別警報が出されるほどの大雨に見舞われ、その後上陸する台風も相次いで大阪付近を通過して被害が拡大しました。そして、9月6日3時7分の北海道胆振地方東部地震では、たくさんの方々が被害にあわれました。



さて、先日10月7日(日)に、左近山中学校体育館において左近山連合の防災訓練が行われました。旭消防署南本宿出張所長の地震についてのお話では、北海道の地震で震度7を記録した厚真町で、30年以内に震度6弱以上の地震が起こる確率は、2.4%だったそうで、それに対し横浜は、82%に上昇しているとの事でした。地震大国日本に住む以上、いつ来るかわからない地震の備えをしっかりとしておく必要があることを話されていました。



今年は、10月27日(土)から11月11日(日)まで防災週間になっています。防災の基本は「自助」と言われます。自分の命は自分で守り、そして、地域で助け合う「共助」へと発展していきます。その中で中学生は大きな力となっていくはずで



す。左近山中学校では、新しい生徒会の人たちが、あいさついっぱいの学校にしていこうとあいさつ運動に力を入れ始めています。これが地域に広がり、地域の人たちと子どもたちの間であいさつを交わし、自治会の中でお互いが顔見知りになることが、共助へとつながっていくことと思います。いつこのような災害がやって来るかはわかりませんが、個々に避難用品をそろえるだけでなく、生徒が地域で生き生きと活動できる環境を作っていくことが、災害に対する備えで大切であると改めて考えさせられました。

文化祭にむけて

10月25日、26日に第46回文化祭が予定されています。各クラス、前期期末試験が終わってから、総合などの時間を中心に文化祭の準備を進めてきました。どのクラスも文化祭実行委員やプロジェクトチームのメンバーを中心に真剣な様子で取り組んでいます。どんな発表をするのか話し合いをしているクラス、



台本の読み合わせをしているクラス、文化祭のパフォーマンスを練習しているクラス、

ビデオカメラ片手に撮影をしているクラスなど様々なクラスがあります。それぞれのクラスがどのような発表になるかわかりませんが、クラスの個性を生かし創意工夫をしながら素晴らしい発表をしようとしています。本番まであと1週間。学級のみんなが力を合わせて、最高の発表を創り上げてほしいと思います。

当日は多くの方のご来場をお待ちしています。



(文化祭担当 高橋 知希)

児童生徒交流会

10月12日(金)に左近山中学校で「児童生徒交流会」が行われました。

来年度、左近山中学校に進学予定の左近山小学校、市沢小学校、今井小学校の6年生計119人が左近山中学校に来校して、中学生たちと交流しました。

5校時は授業参観。小学生たちは各教室やグラウンドを巡って、全クラスの授業を見て回りました。とりわけ興味深そうに見学していたのが、技術科のコンピュータの授業です。



6校時の前半は生徒会役員による左近山中学校での学校生活の紹介です。スライドを活用しながら、「授業」、「文化祭」、「体育祭」、「生徒会」などの様子をコンパクトに説明していました。生徒会役員選挙を終えたばかりの役員さんたちの初めての大きな仕事がこの説明会でした。どの生徒も堂々と説明していて、頼もしさを感じました。

その後は、小学生が一番楽しみにしていた部活動体験です。始めは緊張気味だった



小学生たちも、生徒たちが丁寧に教えていたので、時折笑顔を見せるほどになってきました。中には積極的に中学生に話しかける小学生の姿も見られてきました。部活動の参加を終えた子たちからは、「部活が楽しかった。」と感想を伝えあっていました。

当日、大活躍をしていた生徒会役員さん。各部のメンバーの皆さん。それから6年生のよい手本となるような授業態度だった左近山中の生徒の皆さん。皆さんの輝いている姿を見て、小学6年の子たちは中学に入学することに期待を膨らませたことと思います。素敵な先輩がいる、あの左近山中学校に入学したいときっと感じられたことでしょう。

(小中一貫教育担当 野島 正昭)

第59回横浜市立中学校個別支援学級合同体育祭

9月28日（金）に三ツ沢総合グラウンドで、横浜市の個別支援学級の生徒すべてが集まって体育祭が開かれました。種目は、50m走、100m走、400m走、800m走、ボール投げ、走り幅跳び、リレーの7種目あり、一人2種目選んで出場しました。

リレーは、前年度に続き優勝を狙いましたが入賞することができませんでした。悔しがる生徒もいましたが、出場した生徒も応援していた生徒も頑張った1日でした。

入賞

| | | | |
|------|-------------|-----|--------|
| 2年女子 | 女子2年50m走の部 | 第2位 | 8秒33 |
| 2年男子 | 男子2年100m走の部 | 第2位 | 12秒8 |
| 3年男子 | 男子3年400m走の部 | 第1位 | 1分01秒9 |

3年生の感想

- 僕は、3年間のいろんな経験をし、2年前と違って体力も上がりました。いろんな人と話をし僕は少し成長しました。これからも頑張って強くなりたいです。
- 9月は天気が悪くて、あまり練習ができませんでした。本番ではみんな自分の力が出せていたと思います。中学校生活最後の合同体育祭で、400m1位という記録を残すことができとてもうれしかったです。
- 400m走では、走った組の中で4位になれると思わなくてうれしかったです。中学校最後の合同体育祭だったので本当に楽しかったです。
- 僕は、最後の合同体育祭の400m走で、大勢の走者の中で7位だったのがよかったです。
- 私は、今年で最後の合同体育祭でした。800mは、段々にペースをあげていき、最後に5人を抜いてゴールしました。リレーは、第2走者からのバトンパスが上手くいきました。本当に楽しい合同体育祭でした。

（5組担任 永沼 愛美）



PTA主催 高校学習会

今年度も、9月11日に高校の先生をお招きして学習会を実施いたしました。夏休み前からPTA学年学級委員の皆様にご準備いただき、会をスムーズに終わることができました。

参加された方の主な声から①

「委員の方の手際が良くて無駄な時間がなかった」

～第一部は全体説明会、第二部をグループごとに場所を変えての分散会という形式で行いました。これまでの積み重ねを元にして、運営にも工夫されてきたことが良く分かりました。

参加された方の主な声から②

「高校のことが全然分からなかったので、聞いて良かったです」

「高校の違いが良く分かった」

～5校の先生が、特色を説明するだけでなく、前に話した学校との違いも話されていたので、とても分かりやすく、また面白かったです。

<今回説明して下さった高等学校>

神奈川県立瀬谷西高等学校

「朝読書、生活指導、キャリア教育に力を入れています」

神奈川県立商工高等学校

「少人数で面倒を見て、進学も就職率も良いです。必ず見学をして納得してから来て下さい」

神奈川県立横浜旭陵高等学校

「100分授業と言うと驚かれますが、きちんと理解してノートを書く時間を確保して取り組みます」

横浜商科大学高等学校

「7割の大学進学率です。大規模で、設備は整っています。部活も充実です」

横浜富士見丘学園高等学校

「来春から共学に。小規模できめ細かい指導をします。特に英語と数学に力を入れて、大学進学を支援します」

卒業証書授与式

今年度の卒業証書授与式は、3月11日（月）に決定しました。

そのため、前日の3月10日（日）は卒業式準備等のため登校日にして、代休を3月12日（火）といたしました。よろしく願いいたします。詳細につきましては、近くなりましたらプリント等にてご連絡いたします。